

留学報告書

2016.5.23

Carnegie Mellon University Tepper School of Business

永島航洋

1 生活

渡米からもうすぐ1年になろうとしています。家族共々ようやく生活に慣れてきました。子供達は毎日現地の小学校やプレスクールに通っており、英語力が急速にレベルアップしています。私も負けじと頑張っていますが、英語にはかなり苦労させられています。妻は英語がほとんど話せませんが、持ち前の度胸で乗り切っています。

2 クラス関連

ここでは面白かったクラスをピックアップしてご紹介したいと思います。

2.1 Optimization

パラメータが膨大にあるシステムの中で、ある指標を最適化するための最適値を決める手法を学びました。このクラスを受講した結果、最低限の栄養バランスを満たし、コストを最小にするには、イモとピーナッツバターとミルク(+何かがありました但し忘れました)を取れば良いということがわかりました！実社会でいうと、Uber のような、客をいかに効率的に目的地に移動させるか、といった問題を扱う分野です。

2.2 Managing Network and Organization

組織内のネットワークを理解することが、組織を動かすためにいかに重要かを学びました。この授業のプロジェクトで私は船井奨学生のネットワークを調査しました。結果、キーマンは'おいたす'(種田修三、FOS2015)であることがわかりました！この場をお借りし、ご協力いただいた FOS 関係者にお礼申し上げます。

2.3 Data Mining

ビッグデータをもとに有益なパターンを抽出するデータマイニングの手法を学びました。具体的には Decision Tree, SVM, KNN, Neural Network などです。今後、IoT を介して膨大にデータが集まります。それを活かせるかどうかはビジネスを大きく左右すると思います。

3 課外活動

3.1 サマーインターン獲得まで

せっかくなのでアメリカにいる間に現地でインターンをしたいと思い、そのための活動を 10 月から 12 月あたりまで行いました。結果、幸運にもアップル本社でのインターンを獲得できました。エンジニアリングのマネジメント的なポジションでのイン

ターンになりそうです。

3.2 エンジニアとビジネスアイデアをつなぐシステムづくり

渡米当初から行ってきた調査結果を整理し、大学側へ情報出しを行いました。しかしながら、大学側の反応はイマイチで現在のところ、具体的な次のアクションにつながっていません。別のアプローチを考え中です。

3.3 スタートアップでの活動

シリコンバレーにあるハードウェアのスタートアップで、開発計画作成を行いました。ファウンダーとのディスカッションの中で感じたのは、スタートアップの開発計画って雑だなー、というところですね。それが機動力の源泉なのかもしれません。大手企業でも、思いついたらとりあえずやってみる、ぐらいのスピード感が必要なのかもしれません。

4 総括

この1年間を通して、新しい学問に触れ、新しい仲間に出会い、本当に刺激的な経験をする事ができました。人的なネットワークはとても多様に広がりました。これらは会社勤めを続けていたとしたら得られなかったものと思います。このような貴重な機会を与えていただいた、船井財団には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この経験を活かして、社会に還元できるよう努力していきます。

5 余談

5月より、アップルのインターンでバイエリアに来ています。先日、アップルの社員の方のご自宅で開催されたBBQにお邪魔させていただきました。そこでお会いした方が、昔、ピッツバーグに暮らしていたことがあり、父がCMUで先生をしていた、とお話し下さいました。お名前が徳田さんでしたので、もしやと思い、確認したところ、なんと、現在船井財団で審査委員をなさっている徳田英幸先生のご子息でいらっしゃいました！まさに、世間は広いようで狭い、と感じた一幕でした。

以上